第1編 土木工事編(積算基準(下水道編)適用工事含む)

1. 月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて月 2回土日完全週休2日制工事を試行する。

(月2回土日完全调休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ 決めた月2回の土曜日(以下、指定土日とする。)を現場閉所日※2と する。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との 協議により休日を別の日への振替可能とする。

(対象工事)

- 第3条 すべての工事の案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象外とする。なお、積算基準(港湾関係編)を用いて積算する案件については、第3編港湾等工事編を適用する。
 - ① 契約工期が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、月2回土日完全週休2日制工事(発注 者指定型)である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様 書に定める。

(経費の計上)

第5条 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒 天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 指定土日を現場閉所し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、指定土日の現場閉所、4週8休以上の現場閉所の両方または一 方が達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」*が配付する「週休二日制取組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。 なお、掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、平成31年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和2年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和3年10月1日から施行する。

附則 この要領は、令和4年6月1日から施行する。

附則 この要領は、令和5年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和5年7月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 04 · 現場管理費率 : 1. 06

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

		補正係数	
名称	区分		4週8休以上
鉄筋工			1.05
ガス圧接工			1.04
インターロッキングブロックエ	設置		1.02
1/23-1/4/20/11/91	撤去		1.05
防護柵設置工(ガードレール)	設置		1.01
別該側以 国工 (ガードレール)	撤去		1.05
防護柵設置工(ガードパイプ)	設置		1.01
別設1回以 恒工 (ガードバイノ)	撤去		1.05
防護柵設置工 (横断、転落防止柵)	設置		1.04
別議で加設 国土 (収句)・ 花が 分別 エー 側)	撤去		1.05
防護柵設置工(落石防護柵)			1.02
防護柵設置工(落石防止網)			1.03
道路標識設置工	設置		1.01
是 声 印	撤去・移設		1.04
道路付属物設置工	設置		1.02
是和15周初 成皇士	撤去		1.05
法面工			1.02
吹付枠工			1.03
鉄筋挿入工 (ロックボルト工)			1.03
道路植栽工	植樹		1.05
是 时但 从 上	剪定		1.05
公園植栽工			1.05
橋梁用伸縮継手装置設置工			1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工			1.04
橋面防水工			1.02
薄層カラー舗装工			1.01
グルービングエ			1.01
軟弱地盤処理工			1.02
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)			1.01

下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数

		補正係数	
名 称	規格・仕様	·	4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工			1.03
リブ付硬質塩化ビニル管設置工			1.03
砂基礎工	人力施工		1.05
砂基礎工	機械施工		1.05
砕 石 基 礎 工	人力施工		1.05
砕 石 基 礁 工	機械施工		1.05
組立マンホール設置工			1.05
小型マンホールエ			1.01
取付管およびます設置工	ます設置工		1.01
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工		1.02

2.「月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」特記仕様書

1 月2回土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

2 受注者は、契約後10日以内に、土曜日を閉所する週を様式1にて、監督員へ報告すること。

また、あらかじめ決めた土曜日を閉所する週を変更する場合は、事前に監督員に報告すること。

- 3 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表(任意様式)を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第21条の規定による工期の延長変更を請求することができる。
- 4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

5 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上 (現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正 係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、 共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価に ついては、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

【別紙1 補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 04 · 現場管理費率 : 1. 06

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分
鉄筋工	
ガス圧接工	
	設置
ンターロッキングブロックエ	撤去
529 iman 600 / 19 19	設置
護柵設置工(ガードレール)	撤去
はtim=n,空子 / ユダ ピ。゚/ ーダ\	設置
護柵設置工 (ガードパイプ)	撤去
E.I.M.:n,\$\$\$ - (+#:0' + 艾0+ I.M.)	設置
柵設置工(横断・転落防止柵)	撤去
養柵設置工(落石防護柵)	
隻柵設置工 (落石防止網)	
各標識設置工	設置
计 条减议 旦 上	撤去・移設
4付属物設置工	設置
班沙馬·沙瓜 直上	撤去
ΠI	
寸 枠工	
寄挿入工(ロックボルト工)	
各植栽工	植樹
时但私工	剪定
園 植栽工	
梁用伸縮継手装置設置工	
梁用埋設型伸縮継手装置設置工	
面防水工	
層カラー舗装工	
ルービングエ	
弱地盤処理工	
コンクリート表面処理工 (ウォータージェット工)	

下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数

		補正係数	
名 称	規格・仕様	·	4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工			1.03
リブ付硬質塩化ビニル管設置工			1.03
砂基礎工	人力施工		1.05
砂基礎工	機械施工		1.05
砕 石 基 礎 工	人力施工		1.05
砕 石 基 礁 工	機械施工		1.05
組立マンホール設置工			1.05
小型マンホールエ			1.01
取付管およびます設置工	ます設置工		1.01
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工		1.02

6 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」*が配付する「週休二日制取組 宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。 【掲示の例・サイズ】A3横サイズ(297×420mm)

週休二日制取組宣言	
建設労働者の「働き方改革」を進めるため	
週休二日制に取り組んでいます! <******>	
三重 県建設業労働時間削減推進協議会 [三重県、三重労働局、三重県建設業協会]	

【入手方法】

・HPからダウンロードする場合 【三重県ダウンロードページ】

https://www.pref.mie.lg.jp/JIGYOS/HP/m0156500039_00002.htm

【三重労働局ダウンロードページ】

https://jsite.mhlw.go.jp/mie-

roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/roudoukijun_keiyaku/densisinnsei_00001.html

- ・直接受け取る場合 【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課
- ・郵送で受け取る場合 厚生労働省三重労働局労働基準部監督課まで連絡(059-226-2106)
- ※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

様式1

月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)

月2回土日完全週休2日の指定について

以下のいずれかを■にしてください。 月2回、土曜日に現場閉所する週を □「第1、3週」 □「第2、4週」 □「第 」、				
	<u>令和</u>	年	月	日
工事名				
会社名				
現場代理人				

- ※4週8休かつ指定土日が現場閉所出来ない場合は工事成績点の加点無し。
- ※土日にかかわらず、4週8休の達成が出来ない場合は経費等を減額する。

3.「土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて土 日完全週休2日制工事を試行する。

(土日完全週休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、 原則、すべての土曜日及び日曜日を現場閉所日※2とする。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との 協議により休日を別の日への振替可能とする。

(対象工事)

- 第3条 発注者が必要とする案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象外とする。なお、積算基準(港湾関係編)を用いて積算する案件については、第3編港湾等工事編を適用する。
 - ① 契約工期が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、土日完全週休2日制工事(発注者指定型) である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様書に定める。

(経費の計上)

第5条 土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上 (現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした 補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械 賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するととも に、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。 なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所 日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価 を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒 天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 土日完全週休2日を実施し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、土日完全週休2日、4週8休以上の現場閉所の両方または一方 が達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」※が配付する「週休二日制取 組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。なお、 掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、平成30年6月1日から施行する。

附則 この要領は、令和2年11月20日から施行する。

附則 この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和3年10月1日から施行する。

附則 この要領は、令和4年6月1日から施行する。

附則 この要領は、令和5年7月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 04 · 現場管理費率 : 1. 06

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分	4辿
鉄筋工		
ガス圧接工		
(), (, , , , , , , , , , , , , , , , , ,	設置	
インターロッキングブロックエ	撤去	
p+=strim==n,sss →	設置	
防護柵設置工(ガードレール)	撤去	
Dナ9建細の50-曜子 (ようしょ。 / プト)	設置	
防護柵設置工(ガードパイプ)	撤去	
P. C.	設置	
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	撤去	
防護柵設置工(落石防護柵)		
防護柵設置工(落石防止網)		
**	設置	
道路標識設置工	撤去・移設	
·····································	設置	
道路付属物設置工	撤去	
法面工		
吹付枠工		
鉄筋挿入工(ロックボルト工)		
** 10 to to 45. **	植樹	
道路植栽工	剪定	
公園植栽工		
橋梁用伸縮継手装置設置工		
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		
橋面防水工		
薄層カラー舗装工		
グルービングエ		
軟弱地盤処理工		
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)		

下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数

		補正係数	
名 称	規格・仕様		4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工			1.03
リブ付硬質塩化ビニル管設置工			1.03
砂 基 礎 工	人力施工		1.05
砂基礎工	機械施工		1.05
砕 石 基 礎 工	人力施工		1.05
砕 石 基 礁 工	機械施工		1.05
組立マンホール設置工			1.05
小型マンホールエ			1.01
取付管およびます設置工	ます設置工		1.01
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工		1.02

4.「土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」特記仕様書

1 土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての土曜日及び日曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

- 2 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表(任意様式)を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第21条の規定による工期の延長変更を請求することができる。
- 3 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。
- 4 土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場 閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数 (別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通 仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価につい ては、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

【別紙1 補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 04 · 現場管理費率 : 1. 06

市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

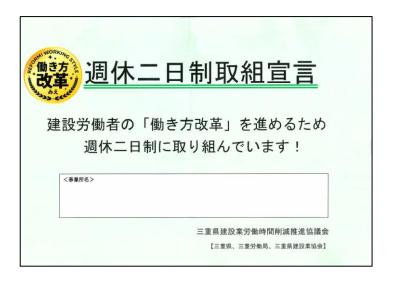
		補正係数						
名称	区分		4週8休以上					
鉄筋工			1.05					
ガス圧接工			1.04					
	設置		1.02					
インターロッキングブロックエ	撤去		1.05					
P+=####################################	設置		1.01					
防護柵設置工(ガードレール)	撤去		1.05					
防護柵設置工(ガードパイプ)	設置		1.01					
的 護	撤去		1.05					
P と	設置		1.04					
防護柵設置工(横断・転落防止柵)	撤去		1.05					
防護柵設置工(落石防護柵)			1.02					
防護柵設置工(落石防止網)			1.03					
道路標識設置工	設置		1.01					
是 时 你 演	撤去・移設		1.04					
道路付属物設置工	設置		1.02					
起班的属 物改 直 工	撤去		1.05					
法面工			1.02					
吹付枠工			1.03					
鉄筋挿入工(ロックボルト工)			1.03					
道路植栽工	植樹		1.05					
是 斯伯 从	剪定		1.05					
公園植栽工			1.05					
橋梁用伸縮継手装置設置工			1.02					
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工			1.04					
橋面防水工			1.02					
薄層カラー舗装工			1.01					
グルービングエ			1.01					
軟弱地盤処理工			1.02					
コンクリート表面処理工(ウォータージェット工)			1.01					
	16							

下水道用設計標準歩掛に係る市場単価の補正係数

		補正係数	
名 称	規格・仕様		4週8休以上
硬質塩化ビニル管設置工			1.03
リブ付硬質塩化ビニル管設置工			1.03
砂 基 礎 工	人力施工		1.05
砂基礎工	機械施工		1.05
砕 石 基 礎 工	人力施工		1.05
砕 石 基 礎 工	機械施工		1.05
組立マンホール設置工			1.05
小型マンホールエ			1.01
取付管およびます設置工	ます設置工		1.01
取付管およびます設置工	取付管布設及び支管取付工		1.02

5 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」※が配付する「週休二日制取組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。

【掲示の例・サイズ】A 3 横サイズ(297×420mm)



【入手方法】

・HPからダウンロードする場合 【三重県ダウンロードページ】

https://www.pref.mie.lg.jp/JIGY0S/HP/m0156500039_00002.htm

【三重労働局ダウンロードページ】

https://jsite.mhlw.go.jp/mie-

roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/roudoukijun_keiyaku/densisinnsei_00001.html

- ・直接受け取る場合【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課
- ・郵送で受け取る場合 厚生労働省三重労働局労働基準部監督課まで連絡(059-226-2106)

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

5.【参考】経費補正の考え方

							実績		早田		/	令和5年 9 月			実績		뿌	,		令和5年8月			実資	+	聖圖		/	令和5年7月	備考	失政	d	E	丰浦	/	令和5年6月			
ATW 1 AL+	操作化在操		禁田州不够 拉	計画時の確認		I	盟と	-	+	学の	₩ -	毎月		1	聖り	-	対象日〇	/ >>	1	毎月			-	対象日 〇	+	章 第 日 日 日	/ -	毎月		閉所日	対象日	閉所日	対象日	/ *I	#月	1 4 33	H H H H H	工事名
+	孙		TU TU 数	58		Į	C)	(0	+ -	継。		1	(0	¥	2	濉	闹	描	_	0	_	o I	2	雅							~ #			
+	+	+	\dashv		沿 道	,	•	ᅪ	_	_	H H	⊣ ·		+	(-	0	*	3 4	2 · 4	+	-	-	0	_	C C	_	4 ·							3 4	. 1	令和5年6月9	
4.0E.7	28 9%	24	83			ŀ	•)	0	0	≻ υ			1	C		0	+	5					0	-)	+ υ	上						Я	5 州 系		令和5年6月9日 和5年6月9日	
_	+	+	4			╀		─	_		⇒ ≮ - +	-	A i	茄		-	0	日月	6 7	Ш	+		_	0	-	C A C	_							-	6 7			,
T	T.	1		滑畑		İ		┵	_	0	(金)	0			(0	⋟	8		闹	_	•	0	•) H	- 00							\rightarrow	00	78.	10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年	1
T-100-1	特任権	型所日数	対 金田 巻	変更契約時の確認	定 指	╇	₹	_	-		H 4	_		+		-	0	*	9 10		闹	加	•	0	_	I C	_		部 部		華		華		9 10	DÆ EI	<u> </u>	1
1 7	301	(学)	攀	野の離晶	田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	╨	•	─	_	_	H F			1	•	-	+-	州	0 11		\vdash		1	0	_) 3 (C					華		華	_	0 11		١.	
1	20			68		Į	(ᅪ	_		> :		油 ii	-	•	_	_	+	12 1		F			0	_))					華		華	-	12 1	1711	令和5年9月21日 合和5年0月10	
10.07	29 5%	23	78			t	2	-	-	_	1 /	_	A i	ήū	D C	_		H Я	13 14		-		_	0	_	C H C	_				東		車		13 14	195	和5年9月21日	
							۲	┵	_		まる	ก			×	-	Part	⊁	15		L			0	-) H	+ 15				举		華		15	I		
+ 4 4 +	4遍6休	4週7休	4週8休	(参考) 経費補正基準		ł	ב	┰	_	_	H 10			+	No.	_	None O	*	16 17	+	洲	茄	•	0	_	I C	_				東		車		16 17			Н
		\perp	Ŕ	二		t	ב	F	_	平	ш 5	10		1	(0	胁	18					0	-) >	18				掛		掛	П	18		避	34
1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	21.4%以上25.0%未満	25.0%以上28.5%未満	28.5%以上	Ħ	元成		ב	F	_		メ ²		油 ii	*	O	-	0	H П	19 20		\perp	-		0	-))					華		華	_	19 20		現場代理人	請負業者名
+ } + + + +	12 + 71	以 十28	Σ Τ	榊		t			_	_	1 +		119 1	ut.		-	0	Я	21					0	_) } }	_				0		0	_	0 21		- ×	20
0.0/0/	10%±	3.5%				ļ					金 2				(-	0	火	22 2		川	_			_	O F				•	0	0	0	_	22 2			
Chell	# :	離	ŀ			t		\dagger	1	_	日 七			1	C C	_	0	*	23 24		計	抗	•	0	-	I C	_		油 油	•	0	•	0	_	23 24			
						ļ					四 2	သူ			C	-	0	斜	25					0	_) ×	25		指定	•	-	•	0	_	25			
4	Δ.	1	퍪	昕		╁	+	+	+	_	火 4		用 ii	-		-	+	H П	26 27	+	+	-	+	;; ;;;;	_))	_				0		0	-	26 27			
0	1900年		개 참 다	成(検達		t					3 K	ွဲ့		1	(0	Э	28				•	0	-) H	28				0		0	水	28			
W 11 2	A 能 8 余 存 補 長		+ 10 +	完成(検査) 時の確認		╀	+	+	+	\rightarrow	# 20 H 20	_		+	(4	0	火米	29 30		計	益	•	0	-	A C	_				0	4	0	_	29 30			
-	-	١.	関所指定十日がすべて関所	の確認		t				1	11 6			†		-	0	×	0 31		119	mt		0	-	_	31						0	NY	0			
		1	元曜万			Ŀ	4	10	4	14	日葵				7	3 ×	28	I	₩ H				9	29	9	31	日数			3	10	З	10	日数				
((Э				33.3%		28.6%		閉所率				25.9%		28.6%	13371	水油間				31.0%		29.0%		閉所率			30.0%	30.00/	30.0%	%0 0£	閉所率			0	
			※指庁日を描替て即所一ている場合を含む		指定を現場関所指定日、振音を指定日の振春日開始を工事開始日、完成を完成報告書提出日				○←対象期間	準←準備期間、片←後片付期間、夏←夏休み期間、年←年末年始休み期間、	編集		1914年 交換的7779年には、東日で1975年日 1978年日 1978年日 1978年	荫井 /	他々その他、受注者の責によらない作業、●◆閉所日		準令準備期間、下令後下付期間、夏◆夏休み期間、年◆年末年始休み期間、割イト油型存品間 ○イ料金括側 ●イ開ルボポート ○イ開ルメポート	1	備老		開始《工事開始日、完成《完成報告書提出日			事←工事事故等による不稼働期間、災←天災に対する突発的な対応期間、	25	準令準備期間、片々後片付期間、夏々夏休み期間、年々年末年始休み期間、	編米		指定<現場開所指定日、振替<指定日の振替日 開始<工事開始日、完成<完成報告書提出日	他≪その他、受注者の責によらない作業、●≪閉所日	(等による不稼働期	製←工場製作期間、○←対象期間、●←閉所指定土日、○←閉所予定日	-後片付期間、夏	備光			月二回土日完全週休二日制工事(発注者指定型)	土日完全週休二日制(発注者指定型)

第2編 公共建築工事積算基準適用工事編

1. 月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて月2回 土日完全週休2日制工事を試行する。

(月2回土日完全週休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、 原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決め た月2回の土曜日(以下、指定土日とする。)を現場閉所日※2とする。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

なお、同一現場で分離発注工事がある場合は、各発注工事単位で現場閉 所の判断を行うものとする。

(対象工事)

- 第3条 すべての案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象外とする。
 - ①契約工期が30日未満の工事
 - ②現場閉所が困難な工事
 - ③発注機関の長が対象工事に適さないと判断する工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、月2回土日完全週休2日制工事(発注者 指定型)である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様書に 定める。

(経費の計上)

第5条 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数(別紙1)を乗じた労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 指定土日を現場閉所し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、指定土日の現場閉所、4週8休以上の現場閉所の両方または一方が 達成できなかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」*が配付する「週休二日制取 組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。

なお、掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、令和5年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和5年7月1日から施行する。

別紙1

積算方法等の運用(公共建築工事積算基準適用の場合)

「試行要領」により費用計上する場合の積算方法等は、以下による。

(1) 複合単価

複合単価の労務単価は、公共工事等設計単価表(三重県)の労務単価に 以下の補正係数を乗じて補正する。

·補正係数: 1. 05

なお、交通誘導警備員の労務単価についても同様に補正する。

(2) 市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格

市場単価と補正市場単価は、公共建築工事積算基準等資料第4編第 1章6の表A-1、表E-1及び表M-1に代えて、(1)の補正係数を用いて算出した以下の表A-2、表E-2及び表M-2の補正率及び以下の式により基準単価及び基準補正単価を算出する。

なお、「基準単価」及び「基準補正単価」とは、公共建築工事積算基準等 資料第4編第1章8(3)による。

【新営工事の場合】

市場単価及び補正市場単価 × 新営補正率

【全館無人改修の場合(基準単価の算定)】 市場単価及び補正市場単価 × 新営補正率

【執務並行改修の場合(基準補正単価の算定)】 市場単価及び補正市場単価 × 改修補正率

物価資料の掲載価格(市場単価以外の材工単価)を採用する場合は、掲載価格を以下の表の補正率を用いた以下の式により補正する。

【新営工事の場合】

物価資料の掲載価格 × 新営補正率

【全館無人改修、執務並行改修の場合】 物価資料の掲載価格 × 改修補正率

表A-2建築工事の補正率

※「市場単価」:市場単価及び補正市場単価、「物価資料」:物価資料の掲載価格の補正率を示す。 なお、記載が無い項目は市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格に共通の補正率を示す。

なお、記載が無い項目は市場単価、 		4週8年					
工種	摘 要※	新営補正率	改修補正率				
仮設工事		1.03	1.03				
土工事		1.03	1.03				
地業工事		1.03	1.03				
鉄筋工事		1.04	1.04				
コンクリート工事		1.04	1.04				
型枠工事		1.03	1.03				
鉄骨工事		1.04	1.04				
既製コンクリート		1.03	1.03				
防水工事	市場単価	1.02	1.09				
防水工事(シーリング)	市場単価	1.04	1.17				
防水工事	物価資料	1.02	1.02				
石工事		1.02	1.02				
タイル工事		1.03	1.03				
木工事		1.02	1.02				
屋根及びとい		1.02	1.02				
金属工事	市場単価	1.02	1.11				
金属工事	物価資料	1.02	1.02				
左官工事 (仕上塗材仕上)	市場単価	1.04	1.04				
左官工事 (仕上塗材仕上以外)	市場単価	1.04	1.18				
左官工事	物価資料	1.04	1.04				
建具(ガラス)	市場単価	1.02	1.12				
建具 (シーリング)	市場単価	1.04	1.19				
建具	物価資料	1.02	1.02				
塗装工事	市場単価	1.04	1.18				
塗装工事	物価資料	1.04	1.04				
内外装工事	市場単価	1.03	1.15				
内外装工事 (ビニル系床材)	市場単価	1.02	1.10				
内外装工事	物価資料	1.03	1.03				
内外装工事 (ビニル系床材)	物価資料	1.02	1.02				
ユニットその他		1.01	1.01				
排水工事		1.03	1.03				
舗装工事		1.02	1.02				
植栽及び屋上緑化		1.03	1.03				

表E-2電気設備工事の補正率

		4週8	休以上
工種	摘 要	新営 補正率	改修 補正率
	電線管、2 種金属線び及び同ボックス	1.04	1.22
	ケープ・ルラック	1.03	1.17
	位置ボックス及び位置ボックス用ボンディング	1.03	1.21
	プ° ルホ˜ ックス	1.02	1.15
配管工事	プルボックス用接地端子	1.00	1.00
	防火区画貫通処理 ケーブルラック用 (壁・床)	1.03	1.16
	防火区画貫通処理・金属管・丸型用	1.01	1.06
	(電動機その他接続材工事) 金属製可とう電線管	1.03	1.17
配線工事	600V 絶縁電線及び 600V 絶縁ケーフ・ル	1.03	1.20
接地工事	(接地極工事) 銅板式、銅覆鋼棒、接地極埋設票(金属製)	1.03	1.03

表M-2機械設備工事の補正率

T IF	** **	4週8休以上新営 補正率改修 補正率1.031.181.041.251.041.25	
工種	摘 要		
保温工事	配管用、ダクト用及び消音内貼	1.03	1.18
ダクト設備	低圧ダクト、排煙ダクト及び低圧チャンバー類	1.03	1.18
ダクト付属品	既製品ボックス、制気口、ダンパー等の取付手間のみ	1.04	1.25
衛 生 器 具 設備 (ユニットを除く)	取付手間のみ	1.04	1.25

2. 「月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」特記仕様書

1 月2回土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

なお、同一現場で分離発注工事がある場合は、各発注工事単位で現場閉 所の判断を行うものとする。

2 受注者は、契約後10日以内に土曜日を閉所する週を様式1にて監督員へ 報告すること。

また、あらかじめ決めた土曜日を閉所する週を変更する場合は、事前に監督 員に報告すること。

- 3 一つの工事現場において分離発注工事がある場合、受注者は他の受注者の 週休2日の取組みに支障が生じないよう各工事間の調整を適切に行うこと。
- 4 受注者は、月1回、工事現場の閉所状況を監督員に報告すること。
- 5 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上 (現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした以下の 補正係数を乗じた労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合 単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分を減額変更する。

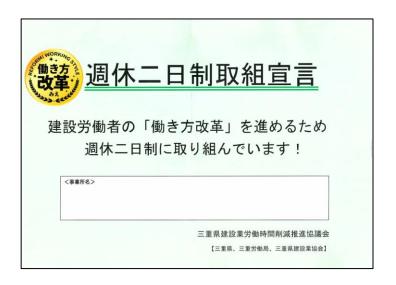
現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

「補正係数」

· 労務費 : 1.05

6 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」^{**}が配付する「週休二日制取組 宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。

【掲示の例・サイズ】A3横サイズ(297×420mm)



【入手方法】

・HPからダウンロードする場合

【三重県ダウンロードページ】

https://www.pref.mie.lg.jp/JIGY0S/HP/m0156500039_00002.htm

【三重労働局ダウンロードページ】

https://jsite.mhlw.go.jp/mie-

roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/roudoukijun_keiyaku/densisinnsei_00001. html

・直接受け取る場合

【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課

- ・郵送で受け取る場合 厚生労働省三重労働局労働基準部監督課まで連絡(059-226-2106)
- ※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)

月2回土日完全週休2日の指定について

以下のいずれかを■にしてくたさい。				
月2回、土曜日に現場閉所する週を				
□「第1、3週」				
□「第2、4週」				
□「第 ̄ ̄、 ̄ 週」 とします。				
	<u>令和</u>	年	月	日
工事名				
会社名				
現場代理人				

※4週8休かつ指定土日が現場閉所出来ない場合は工事成績点の加点無し。
※土日にかかわらず、4週8休の達成が出来ない場合は、経費等を減額する。

3. 月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて月2回 土日完全週休2日制工事を試行する。

(月2回土日完全週休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日(以下、指定土日とする。)を現場閉所日※2とする。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

なお、同一現場で分離発注工事がある場合は、各発注工事単位で現場閉 所の判断を行うものとする。

(対象工事)

- 第3条 すべての案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象外とする。
 - ①契約工期が30日未満の工事
 - ②現場閉所が困難な工事
 - ③月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)の対象工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、月2回土日完全週休2日制工事(受注者 希望型)である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様書に 定める。

(経費の計上)

第5条 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数(別紙1)を乗じた労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、現場閉所率に応じて補正係数(別紙1)を乗じた補正分に変更する。4週6休未満(現場閉所日数/対象期間日数=21.4%未満)の場合は補正分を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天 (降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 指定土日を現場閉所し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合についてのみ、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、指定土日の現場閉所、4週8休以上の現場閉所の両方または一方 が達成できなかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」*が配付する「週休二日制取 組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。なお、 掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年 (2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働 削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労 働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、令和3年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和4年6月1日から施行する。

附則 この要領は、令和5年4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和5年7月1日から施行する。

別紙1

積算方法等の運用(公共建築工事積算基準適用の場合)

「試行要領」により費用計上する場合の積算方法等は、以下による。

(1) 複合単価

複合単価の労務単価は、公共工事等設計単価表(三重県)の労務単価に 以下の補正係数を乗じて補正する。

ア 4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)

·補正係数: 1. 05

イ 4週7休(現場閉所日数/対象期間日数=25%

以上 28.5%未満)

·補正係数: 1. 03

ウ 4週6休(現場閉所日数/対象期間日数=21.4%以上25%未満)

·補正係数: 1. 01

なお、交通誘導警備員の労務単価についても同様に補正する。

(2) 市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格

市場単価と補正市場単価は、公共建築工事積算基準等資料第4編第 1章6の表A-1、表E-1及び表M-1に代えて、(1)ア、イ及びウの 補正係数を用いて算出した以下の表A-2、表E-2及び表M-2の補正 率及び以下の式により基準単価及び基準補正単価を算出する。

なお、「基準単価」及び「基準補正単価」とは、公共建築工事積算基準等 資料第4編第1章8(3)による。

【新営工事の場合】

市場単価及び補正市場単価 × 新営補正率

【全館無人改修の場合(基準単価の算定)】 市場単価及び補正市場単価 × 新営補正率

【執務並行改修の場合(基準補正単価の算定)】 市場単価及び補正市場単価 × 改修補正率

物価資料の掲載価格(市場単価以外の材工単価)を採用する場合は、掲載価格を以下の表の補正率を用いた以下の式により補正する。

【新営工事の場合】

物価資料の掲載価格 × 新営補正率

【全館無人改修、執務並行改修の場合】 物価資料の掲載価格 × 改修補正率

表A-2建築工事の補正率

※「市場単価」:市場単価及び補正市場単価、「物価資料」:物価資料の掲載価格の補正率を示す。 なお、記載が無い項目は市場単価、補正市場単価及び物価資料の掲載価格に共通の補正率を示す。

なの、 配乗が 無	() 項目は川物					□ 		
工種	摘 要※	4週8	休以上	4 週	7休	4 週	6 休	
	摘 安然	新営 補正率	改修 補正率	新営 補正率	改修 補正率	新営 補正率	改修 補正率	
仮設工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
土工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
地業工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
鉄筋工事		1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
コンクリート工事		1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
型枠工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
鉄骨工事		1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
既製コンクリート		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
防水工事	市場単価	1.02	1.09	1.01	1.08	1.01	1.07	
防水工事(シーリング)	市場単価	1.04	1.17	1.02	1.15	1.01	1.14	
防水工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
石工事		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
タイル工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01	
木工事		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
屋根及びとい		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
金属工事	市場単価	1.02	1.11	1.01	1.10	1.01	1.09	
金属工事	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
左官工事 (仕上塗材仕上)	市場単価	1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
左官工事 (仕上塗材仕上以外)	市場単価	1.04	1.18	1.02	1.16	1.01	1.15	
左官工事	物価資料	1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
建具 (ガラス)	市場単価	1.02	1.12	1.01	1.11	1.01	1.10	
建具 (シーリング)	市場単価	1.04	1.19	1.02	1.17	1.01	1.15	
建具	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01	
塗装工事	市場単価	1.04	1.18	1.02	1.16	1.01	1.14	
塗装工事	物価資料	1.04	1.04	1.02	1.02	1.01	1.01	
内外装工事	市場単価	1.03	1.15	1.02	1.13	1.01	1.12	

【公共建築工事編】

内外装工事 (ビニル系床材)	市場単価	1.02	1.10	1.01	1.09	1.01	1.08
内外装工事	物価資料	1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01
内外装工事 (ビニル系床材)	物価資料	1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01
ユニットその他		1.01	1.01	1.01	1.01	1.01	1.01
排水工事		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01
舗装工事		1.02	1.02	1.01	1.01	1.01	1.01
植栽及び屋上緑化		1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01

表 Ε - 2 電気設備工事の補正率

丁 珸	按西	4週8	4週8休以上 4		7休	4週6休	
工種	摘 要	新営 補正率	改修 補正率	新営 補正率	改修 補正率	新営 補正率	改修 補正率
	電線管、2 種金属線ぴ 及び同ボックス	1.04	1.22	1.02	1.20	1.01	1.18
	ケーフ゛ルラック	1.03	1.17	1.02	1.16	1.01	1.15
	位置ボックス及び 位置ボックス用ボンディング	1.03	1.21	1.02	1.19	1.01	1.18
	プ°ルホ゛ックス	1.02	1.15	1.01	1.14	1.01	1.13
配管工事	プルボックス用接地端子	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	防火区画貫通処理 ケーブルラック用(壁・床)	1.03	1.16	1.02	1.15	1.01	1.14
	防火区画貫通処理 金 属管·丸型用	1.01	1.06	1.01	1.05	1.01	1.05
	(電動機その他接続材 工事) 金属製可とう電線管	1.03	1.17	1.02	1.16	1.01	1.15
配線工事	600V 絶縁電線及び 600V 絶縁ケーブル	1.03	1.20	1.02	1.18	1.01	1.17
接地工事	(接地極工事) 銅板式、 銅覆鋼棒、接地極埋設 票(金属製)	1.03	1.03	1.02	1.02	1.01	1.01

表M - 2機械設備工事の補正率

T IF	k	4週8	休以上	4週7休		4週6休	
工種	摘 要	新営 補正率	改修 補正率	新営 補正率	改修 補正率	新営 補正率	改修 補正率
保温工事	配管用、ダクト用及び 消音内貼	1.03	1.18	1.02	1.16	1.01	1.15
ダクト設備	低圧ダクト、排煙ダクト及 び低圧チャンバー類	1.03	1.18	1.02	1.16	1.01	1.15
ダクト付属品	既製品ボックス、制気口、 ダンパー等の取付手間の み	1.04	1.25	1.02	1.23	1.01	1.21
衛 生 器 具 設備 (ユニッ トを除く)	取付手間のみ	1.04	1.25	1.02	1.23	1.01	1.21

4. 「月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型)」特記仕様書

1 月2回土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、 現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所さ れた状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

なお、同一現場で分離発注工事がある場合は、各発注工事単位で現場閉 所の判断を行うものとする。

2 受注者は月2回土日完全週休2日制を実施するか否かについて、契約後1 0日以内に様式1を作成し、監督員へ提出する。また、実施する場合は、土曜日を閉所する週を様式1に併せて記入し報告すること。

なお、あらかじめ決めた土曜日を閉所する週を変更する場合は、事前に監督 員に報告すること。

- 3 一つの工事現場において分離発注工事がある場合、受注者は他の受注者の 週休2日の取組みに支障が生じないよう各工事間の調整を適切に行うこと。
- 4 受注者は、月1回、工事現場の閉所状況を監督員に報告すること。
- 5 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上 (現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした以下の 補正係数を乗じた労務費(予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合 単価、市場単価及び物価資料の掲載価格(材工単価)の労務費)を計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、現場閉所率に応じて以下の補正係数を乗じた補正分に変更する。4週6休未満(現場閉所日数/対象期間日数=

21.4%未満)の場合は補正分を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

「補正係数」

【4週8休以上】

(現場閉所日数/対象期間日数:28.5%以上)

· 労務費 : 1.05

【4週7休】

(現場閉所日数/対象期間日数:25%以上28.5%未満)

· 労務費 : 1.03

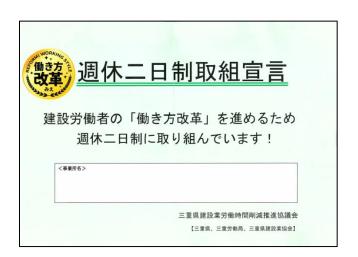
【4调6休】

(現場閉所日数/対象期間日数:21.4%以上25%未満)

· 労務費 : 1. 0 1

6 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」*が配付する「週休二日制取組 宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。

【掲示の例・サイズ】A3横サイズ(297×420mm)



【入手方法】

HPからダウンロードする場合

【三重県ダウンロードページ】

https://www.pref.mie.lg.jp/JIGYOS/HP/m0156500039_00002.htm

【三重労働局ダウンロードページ】

https://jsite.mhlw.go.jp/mie-

roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/roudoukijun_keiyaku/densisinnsei_00001.html

・直接受け取る場合【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課

- ・郵送で受け取る場合厚生労働省三重労働局労働基準部監督課まで連絡(059-226-2106)
- ※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

月2回土日完全週休2日制工事(受注者希望型)

月2回土日完全週休2日の実施について

以下のいずれかを■にしてください。 □: 当社は月2回土日完全週休2日を実施します。 月2回、土曜日に現場閉所する週を □「第1、3週」 □「第2、4週」				
□:当社は以下の理由により、月2回土日完全週休	2日を実	施しま	せん。	
 (実施しない場合、該当する理由を■にしてください □工程管理が困難となるから(天候不順など不確定を □天候不順など不確定な要素があることで工程管理を □日給月給制の従業員が多く、月当たりの賃金が低き □当社の休暇制度と合わないから □下請業者との調整が困難となるから □他工事との調整が困難となるから □その他 	な要素を が困難と	除く) なるか		•
(()
	<u>令和</u>	年	月	日
<u>工事名</u> 会社名				
現場代理人				

- ※4週8休かつ指定土日が現場閉所出来ない場合は工事成績点の加点無し。
- ※土日にかかわらず、4週8休の達成が出来ない場合は、経費等を達成状況に 応じて変更する。

5.【参考】経費補正の考え方

The column of	4 H		ф Вл	0	2		0 8 91 8	+1 240	請負業者名						土日完全週休二日制(発注者指定型)
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.	Н	期	令和5年	ш	`	4E	令和5年9月21日	.\++	現場代理人					0	111
第5 第5 2 4 上明日 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 15 17 18 18 18 19 19 19 19 19	1事工	開始日	令和5年6月		成報告提出日		5年9月19日								二回土日完全週休二
1980 1980	令和5年6月	毎月第	2 · 4	上 羅 田											
1980 1990		-	Η ω	≽ б	* 8	11 12 目 月	14 北 木	17 ±	19 20 月 火	22 23	25 26 目 月	≯ 28			
四条日 1 1 1 1 1 1 1 1 1					拼	禅	禅	拼	拼	0	0	0	П	\vdash	9mi
		В												ш	1
四宗日		Ш			-	準準	華	₩	举	0	0	0		L	事々工事事故等による不稼働期間、災々天災に
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1											_			⊢	
1 1 2 3 4 5 5 7 4 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1	蒲光				裕 囲										指定<現場閉所指定日、振替<指定日の振替E 開始<工事開始日、完成<完成報告書提出日
1	令和5年7月	毎月第	2 · 4	H 翻 田											
日本日 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 本 金 土 日 日 火 水 か み 金 上 日 月 火 火 水 金 土 日 月 火 水 水 金 土 日 月 火 水 本 金 土 日 月 火 水 水 金 土 日 月 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 月 火 水 水 金 土 日 月 火 水 水 金 土 日 月 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 月 火 水 水 金 土 日 月 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 月 火 水 水 金 土 日 月 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 土 日 日 火 水 水 金 木 金 木 金 木 金 木 金 木 金 木 金 木 金 木 金 木		1 2	ω	6	9	11 12	14 15	17	19 20	22 23	25 26	28	31 H		
野祭日 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		-	Я	+	± В	火水	金	Я	*	<u></u> Н	火水	觘	Ш		
		0	0	0	00	0	0	0	0	 0 0	0	0	0	_	後片付期間、夏←夏 ○←対象期間、●←
日		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 %	0	0	щ	事々工事事故等による不稼働期間、災々天災に
## 指								•	•	-		•		_	他々その他、受注者の責によらない作業、●☆
5 5 5 7 8 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1		a a	Inj m					冲 武					州 道		指定《現場財所指定日、抜聲《指定日の抜音》 開始《工事開始日、完成《完成報告書提出日
大学	10400	1 2	3 4	_	8 9	11 12	14 15	17	19 20	22 23	25 26	28	3 <u>1</u>		
対象日 0 0 0 0 0 0 0 0 0	/) >) >) [) >) 	H Z) >) [) >) 	Ę) >	+	10
対象 1		0	0	0 0	0	00	No.	0 0	• 0	0	• 0	0	0		↑ XIII
開係日		0	0	0	0	0 ()em(0	0	0	0	0	0	-	1
# 語の 歌唱別所 報題		((•	(• 0	ÿ	(•	(•	0	(\vdash	受注者の責によらない作業
月 毎月第 2・4 土曜日				沿着			計		指流			指定			指定 < 現場閉所指定日、振誉 < 指定日の振替日 開始 < 工事開始日、完成 < 完成報告書提出日
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 29 30 一下	和5年9月	毎月第	2 · 4	異四											
金 1 1 1 1 1 1 1 1 1		1 2	3 4	-	8	11 12	14 15	17	19 20	22 23	25 26	28			
対象日 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 月 片 片 片 片 片 片 片	 /	串	Ш	쏫	★+	月火	* (全	Ш	¥	金土	月火	*	I	_ /	
200 10 10 10 10 10 10 10		0	• 0	0	• o	0	0	斗	汗			+			↑ XIII
開所日 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●		0	0	0	〇 命	0	구 구	갸	注	1		+		-	î
## 28.9% 達成率 29.5% 4週6件 21.4%以上25.0%未満 4週8件を達成 ○ ##で早場関所変に、 ##を #度日		(•	((• (21		-						受注者の責によらない作業
変更契約時の確認 (参考) 経費補正基準			油 知		-	-			完 成						指定《現場閉所指定日、振替《指定日の振替E 開始《工事開始日、完成《完成報告書提出日
83 対象日数 78 4386休 28.5%以上 開所指定土日がすべて開所 ○ ※指定日を振替で開所している場 24 開所日数 23 43円/休 25.0%以上28.5%未満 【 3.5% 表演 29.5% 3.5% 4386休 21.4%以上25.0%未満 【 4週8休を達成 ○ 】	計画	持の確認			変更契約服			(参考) 経費	補正基準				詩の確認		
28.9% 達成率 29.5% 4週6休 21.4%以上25.0%未満 4週8休を達成	社 罪	寸象予定日		24 83	四条 四元		33 78	4週8休	28.5%以上	28.5% 未満		閉所指定土6	がすべて閉		
	42 3	達成予定率	+	8.9%	達成2		55%	4週6休	21.4%以上	25.0%未満		崗	蒸	0	
温快予定块识 4.温8休 经费储正 4.温8休 未染改 21.4%未洗		生水 小左马		0.5/6	a Youth	+	6	十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	14 / 0 / 12	73.070 /N/M	_	Ğ	E/OX.		

第3編 港湾等工事編 (積算基準(港湾関係)適用工事)

1. 月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて月 2回土日完全週休2日制工事を試行する。

(月2回土日完全週休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ 決めた月2回の土曜日(以下、指定土日とする。)を現場閉所日※2と する。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との 協議により休日を別の日への振替可能とする。

(対象工事)

- 第3条 月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)の試行は、積算基準 (港湾関係編)を用いて積算するすべての工事の案件を対象とする。た だし、以下の案件については対象外とする。
 - ① 契約工期が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、月2回土日完全週休2日制工事(発注 者指定型)である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様 書に定める。

(経費の計上)

第5条 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒 天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 指定土日を現場閉所し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、指定土日の現場閉所、4週8休以上の現場閉所の両方または一 方が達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」*が配付する「週休二日制取組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。 なお、掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、令和3年10月1日から施行する。

附則 この要領は、令和4年 6月1日から施行する。

附則 この要領は、令和5年 4月1日から施行する。

附則 この要領は、令和5年 7月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 02 · 現場管理費率 : 1. 03

		市場単価
		補正係数
1	底面工	1.04
2	マット工(アスファルトマット設置・ゴム系マット設置)	1.01
3	支保工	1.05
4	足場工	1.03
5	鉄筋工	1.05
6	吊鉄筋工	1.05
7	型枠工	1.04
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設)	1.05
	コンクリート打設工(ポンプ車打設以外)	1.05
9	止水板工	1.05
10	上蓋工	1.05
11	伸縮目地工	1.03
12	係船柱取付	1.05
13	防舷材取付	1.05
14	車止・縁金物取付	1.05
15	係船柱撤去	1.05
16	防舷材撤去	1.05
17	車止撤去	1.05
18	電気防食取付	1.05
19	防砂目地板取付工(陸上施工)	1.05
20	防砂目地板取付工(水中施工)	1.04
21	吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1.04
22	港湾構造物塗装工(係船柱・車止・縁金物)	1.04
23	ペトロラタム被覆	1.05
24	現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.05
25	現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1.05
26	かき落とし工	1.05
27	汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.04
28	汚濁防止枠設置・撤去	1.03
29	灯浮標設置・撤去	1.04
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船あり・水中目視点検)	1.01
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船なし)	1.05
	異形ブロック製作 型枠工	1.05
31	異形ブロック製作 コンクリート打設	1.05
	異形プロック製作 給熱養生	1.04

2.「月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」特記仕様書

1 月2回土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原則、すべての日曜日と「第2、4週」、「第1、3週」などあらかじめ決めた月2回の土曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

2 受注者は、契約後10日以内に、土曜日を閉所する週を様式1にて、監督員へ報告すること。

また、あらかじめ決めた土曜日を閉所する週を変更する場合は、事前に監督員に報告すること。

- 3 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表(任意様式)を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第21条の規定による工期の延長変更を請求することができる。
- 4 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。

5 月2回土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上 (現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正 係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、 共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価に ついては、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

【別紙1補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 02 · 現場管理費率 : 1. 03

		市場単価
		補正係数
1	底面工	1.04
2	マット工(アスファルトマット設置・ゴム系マット設置)	1.01
3	支保工	1.05
4	足場工	1.03
5	鉄筋工	1.05
6	吊鉄筋工	1.05
7	型枠工	1.04
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設)	1.05
	コンクリート打設工(ポンプ車打設以外)	1.05
9	止水板工	1.05
10	上蓋工	1.05
11	伸縮目地工	1.03
12	係船柱取付	1.05
13	防舷材取付	1.05
14	車止・縁金物取付	1.05
15	係船柱撤去	1.05
16	防舷材撤去	1.05
17	車止撤去	1.05
18	電気防食取付	1.05
19	防砂目地板取付工(陸上施工)	1.05
20	防砂目地板取付工(水中施工)	1.04
21	吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1.04
22	港湾構造物塗装工(係船柱・車止・縁金物)	1.04
23	ペトロラタム被覆	1.05
24	現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.05
25	現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1.05
26	かき落とし工	1.05
27	汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.04
28	汚濁防止枠設置・撤去	1.03
29	灯浮標設置・撤去	1.04
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船あり・水中目視点検)	1.01
	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船なし)	1.05
	異形ブロック製作 型枠工	1.05
31	異形ブロック製作 コンクリート打設	1.05
	異形ブロック製作 給熱養生	1.04

6 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」*が配付する「週休二日制取組 宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。 【掲示の例・サイズ】A3横サイズ(297×420mm)



【入手方法】

・HPからダウンロードする場合 【三重県ダウンロードページ】

https://www.pref.mie.lg.jp/JIGYOS/HP/m0156500039_00002.htm

【三重労働局ダウンロードページ】

https://jsite.mhlw.go.jp/mie-

roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/roudoukijun_keiyaku/densisinnsei_00001.html

- ・直接受け取る場合【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課
- ・郵送で受け取る場合 厚生労働省三重労働局労働基準部監督課まで連絡(059-226-2106)
- ※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

様式1

月2回土日完全週休2日制工事(発注者指定型)

月2回土日完全週休2日の指定について

以下のいずれかを■にしてください。月2回、土曜日に現場閉所する週を□「第1、3週」□「第2、4週」□「第□「第」」週」とします。				
	<u>令和</u>	年	月	日
工事名				
現場代理人				
グレンジ 1 マグエフト				

- ※4週8休かつ指定土日が現場閉所出来ない場合は工事成績点の加点無し。
- ※土日にかかわらず、4週8休の達成が出来ない場合は経費等を減額する。

3.「土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」試行要領

(目的)

第1条 建設業では、若年者の入職が年々減少し、将来の担い手不足が大きな 課題となっている。このため、週休2日(4週8休)の普及に向けて土 日完全週休2日制工事を試行する。

(土日完全週休2日制の定義)

- 第2条 工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、 原則、すべての土曜日及び日曜日を現場閉所日※2とする。
- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との協議により休日を別の日への振替可能とする。

(対象工事)

- 第3条 発注者が必要とする案件を対象とする。ただし、以下の案件については対象外とする。
 - ① 契約工期が30日未満の工事
 - ② 現場閉所困難な工事

(入札公告等への明示)

第4条 発注者は、入札公告において、土日完全週休2日制工事(発注者指定型) である旨を明示する。また、必要な事項について、特記仕様書に定める。

(経費の計上)

第5条 土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上 (現場閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした 補正係数(別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械 賃料)、共通仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するととも に、標準単価については、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。 なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所 日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を 減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒 天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

(工事成績評定における評価)

第6条 土日完全週休2日を実施し、かつ、4週8休以上の現場閉所が達成できた場合、工事成績採点表 創意工夫の評価(監督員)における【働き方改革】において加点評価する。

なお、土日完全週休2日、4週8休以上の現場閉所の両方または一方 が達成出来なかった場合でも、工事成績評定の減点は行わない。

(その他)

第7条 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」※が配付する「週休二日制取 組宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。なお、 掲示例等詳細については、別途、特記仕様書に定める。

※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年 (2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

附則 この要領は、令和3年10月1日から施行する。

附則 この要領は、令和3年 6月1日から施行する。

附則 この要領は、令和5年 7月1日から施行する。

【別紙1 補正係数】

· 労務費 : 1. 05 · 機械経費(賃料): 1. 04 · 共通仮設費率 : 1. 02 · 現場管理費率 : 1. 03

		市場単価
1		補正係数
1	底面工	1.04
2	マット工(アスファルトマット設置・ゴム系マット設置)	1.01
3	支保工	1.05
4	足場工	1.03
5	鉄筋工	1.05
6	吊鉄筋工	1.05
7	型枠工	1.04
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設)	1.05
	コンクリート打設工(ポンプ車打設以外)	1.05
9	止水板工	1.05
10	上蓋工	1.05
11	伸縮目地工	1.03
12	係船柱取付	1.05
13	防舷材取付	1.05
14	車止・縁金物取付	1.05
15	係船柱撤去	1.05
16	防舷材撤去	1.05
17	車止撤去	1.05
18	電気防食取付	1.05
19	防砂目地板取付工(陸上施工)	1.05
20	防砂目地板取付工(水中施工)	1.04
21	吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1.04
22	港湾構造物塗装工(係船柱・車止・縁金物)	1.04
23	ペトロラタム被覆	1.05
24	現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.05
25	現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1.05
26	かき落とし工	1.05
27	汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.04
28	汚濁防止枠設置・撤去	1.03
29	灯浮標設置・撤去	1.04
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船あり・水中目視点検)	1.01
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船なし)	1.05
	異形ブロック製作 型枠工	1.05
31	異形ブロック製作 コンクリート打設	1.05
	異形ブロック製作 給熱養生	1.04

4.「土日完全週休2日制工事(発注者指定型)」特記仕様書

1 土日完全週休2日制の定義

工事開始日から工事完成報告書の提出日までを対象期間※1として、原 則、すべての土曜日及び日曜日を現場閉所日※2とする。

- ※1 「準備期間」、「後片付け期間」、「夏季休暇(3日間)」、「年末年始休暇(6日間)」、「工場製作のみの期間」、「工事事故等による不稼働期間」、「天災(豪雨、出水、土石流、地震等)に対する突発的な対応期間」、「その他、受注者の責によらず休工・現場作業を余儀なくされる期間」は対象期間から除く。
- ※2 巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

ただし、緊急対応など、やむを得ない理由がある場合には、発注者との 協議により休日を別の日への振替可能とする。

- 2 受注者は、契約当初に工期延長が必要となる場合は、実施工程表(任意様式)を提出し、監督員と協議のうえ、契約書第21条の規定による工期の延長変更を請求することができる。
- 3 受注者は、月1回、工事現場の休工状況を監督員に報告すること。
- 4 土日完全週休2日制に関する経費は、当初積算時に、4週8休以上(現場 閉所日数/対象期間日数=28.5%以上)の現場閉所を前提とした補正係数 (別紙1)を乗じたそれぞれの経費(労務費、機械経費(機械賃料)、共通 仮設費率、現場管理費率、市場単価)を計上するとともに、標準単価につい ては、4週8休以上の設計単価を適用し計上する。

なお、対象期間中の現場閉所の達成状況が、4週8休未満(現場閉所日数/対象期間日数=28.5%未満)となる場合は、補正分及び標準単価を減額変更する。

現場閉所日数は、土日にかかわらず現場を閉所した日の累計とし、荒天(降雨・降雪等)により休工した日も現場を閉所した日数に含む。

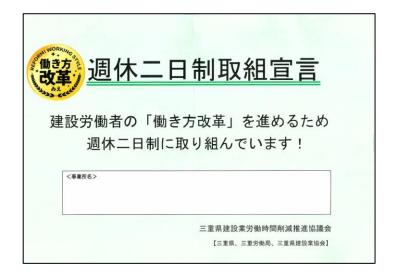
【別紙1 補正係数】

・労務費・機械経費(賃料): 1. 04・共通仮設費率・現場管理費率:1. 03

	이 사람들은 가는 이 아이들이 나를 가고 있다.	市場単価
		補正係数
1	底面工	1.04
2	マット工(アスファルトマット設置・ゴム系マット設置)	1.01
3	支保工	1.05
4	足場工	1.03
5	鉄筋工	1.05
6	吊鉄筋工	1.05
7	型枠工	1.04
8	コンクリート打設工(ポンプ車打設)	1.05
Ľ	コンクリート打設工(ポンプ車打設以外)	1.05
9	止水板工	1.05
10	上蓋工	1.05
11	伸縮目地工	1.03
12	係船柱取付	1.05
13	防舷材取付	1.05
14	車止・縁金物取付	1.05
15	係船柱撤去	1.05
16	防舷材撤去	1.05
17	車止撤去	1.05
18	電気防食取付	1.05
19	防砂目地板取付工(陸上施工)	1.05
20	防砂目地板取付工(水中施工)	1.04
21	吸出し防止工(陸上施工・海上施工)	1.04
22	港湾構造物塗装工(係船柱・車止・縁金物)	1.04
23	ペトロラタム被覆	1.05
24	現場鋼材溶接・切断工(陸上施工・海上施工)	1.05
25	現場鋼材溶接・切断工(水中施工)	1.05
26	かき落とし工	1.05
27	汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.04
28	汚濁防止枠設置・撤去	1.03
29	灯浮標設置・撤去	1.04
30	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船あり・水中目視点検)	1.01
50	汚濁防止膜保守管理(海上目視点検作業船なし)	1.05
	異形ブロック製作 型枠工	1.05
31	異形ブロック製作 コンクリート打設	1.05
	異形ブロック製作 給熱養生	1.04

5 「三重県建設業労働時間削減推進協議会」*が配付する「週休二日制取組 宣言」を工事現場の公衆の見やすいところに掲示するよう努める。

【掲示の例・サイズ】A3横サイズ(297×420mm)



【入手方法】

・HPからダウンロードする場合

【三重県ダウンロードページ】

https://www.pref.mie.lg.jp/JIGYOS/HP/m0156500039_00002.htm

【三重労働局ダウンロードページ】

https://jsite.mhlw.go.jp/mie-

roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/roudoukijun_keiyaku/densisinnsei_00001.html

- ・直接受け取る場合
 - 【配付先】厚生労働省三重労働局労働基準部監督課
- ・郵送で受け取る場合 厚生労働省三重労働局労働基準部監督課まで連絡(059-226-2106)
- ※建設事業の働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が令和6年(2024年)4月1日から適用されるため、これに向けて、長時間労働削減に関する自主的取組の促進を図ることを目的として、三重県、厚生労働省三重労働局及び三重県建設業協会等で構成する組織。

5.【参考】経費補正の考え方

				Diff		3	実績 次 課	- 3	학画	+	/	令和5年9月			3	実績	1 3	計画		/	令和5年8月			英質		ᄪ		/	令和5年7月	施兆		明維	- I		/		令和5年6月	1.7			
P	報品	男所子	対象子	計画時の確認		I	対象日	┰	+	+		血			Ī	開業に口に	┺	+	-		曲			閉所日	_	-+	対象日(/	曲		閉所日	対象日	閉所日	対象日	/_		串	工事開始日	工期	H 事名	
ì	塞引不知整	閉所予定日数	対象予定日数				0	┰		_	_	_ Ш			t	C	-	C	-		毎月第	闩	描	•	0	-	_	H 2	毎月第		t				木金	1 2	月第				
	4				計 量	•	0	┰		_	_	⊣ · ⊦	-		+	C	┺	C	-	_	2 · 4	-			0	-	\rightarrow	ى <u>⊞</u> 4 ⊀	- · -		╀				⊬ В	3 4	2 · 4	令和5年6月9日	令和5		
	28.9%	24	88			ŀ	0	() () >	÷ 0	4			1	C		С	Н	- თ					0		0	' σ	H		t				Я	51	H 編 田	6A9B	令和5年6月9日		
L	4	_	4	+		ŀ	0	┺		-		-	-	₩ i	並	0	-		-	_	Ш	\perp			0	+	-+	· ·	_		╀				火水	6 7	m		Ш	-	
İ	T			対用		İ	0	L	C)	> oo	_			1	C		С	×	- 00		闸	-		0	_	0	H <	,						*	œ		成報告	7		
200	操品船	閉所日数	対象日数	変更契約時の確認	定 措	╇	有 〇	_		_	_		_		-	C	_	C	_	_		闹	施	•	0	_	_	9 Д		部 選	8	単 単		華	金	9 10		完成報告提出日	_	-	
7.000		樊	樊	の確認	被響	╨	• 0	┰		E (n	_			•	• 0	┺	_	闹	> 11					0	-	_	× =	:			準		#	Ш	11			db		
	29.5%	23	78	,,,		ŀ	0	┰		-		_	_	油 油 油	-		-	_	_	_		+			0	-	_	* L2 * L3				華華		華	月火	12 13		令和5:	和5年!	-	
	%	ω					斗	-) >	+ 14			I'G A		βα	-	<u>)</u>	Э	14		T			0		0) 4	:			華		単	/ 水	14		令和5年9月19日	令和5年9月21日	ľ	
	-			(i)		L	구 구	╨	ב	_			-)40)40	-)m)m	-			λi	並	•	0	-	_	H 15				華華		華	*	15 16		9 日	ш		
1	4遍6休	4週7休	4週8休	(参考) 経費補正基準			갸	╨	ב	F I	- 1	i				С		_	>	17		110	me		0	-	_	Н	i			華		単	\pm	17					
1	_	_	7 28	養養	张 叝		구 구	╨	ב	-					+	C	┺	C	+			-		•	0	0	-	½ 19				単 準		非	<mark>В</mark> Я	18 19			現場	鰮	
	21.4%以上25.0%未満	25.0%以上28.5%未満	28.5%以上	日 基 準	245 (1)		-1		ב	F >	7 20	_	t	À i	並	• C	-	_	_			t			0	-	-+	3 ⊀	3			単		華	火	9 20			現場代理人	請負業者名	
-	+25.0	上28.5	H-			ŀ	+	-	ב	F →		_	-		+	C	_	C	+-	_		闩	描	•	0	\rightarrow	_	全 土 土			•	0	0	0	*	21 22				Π4	
1000	% # #	%未満	ľ					t		Н	+ 23	3			\dagger	0	_	С	-	_		洲	$\overline{}$	\rightarrow	—⊪	-	_	П 23	3		ľ	0		0	金	2 23					
		٥,				L		L		I I	_					商	_	C	-						0	-	_	月 火		計 計	-	0 0	•	0 0	土田	24 25					
								l	+	×	26			i (m	並	• 0	┺	_	-			ŀ			×	-	_	¥ 6	3	m m		0	_	0	H A	5 26					
ì	2 語 2		閉所措	完成(4				L		÷				₩ i	並	• 0	-	0	-	_		-		•	≋ ○	-	-	木 金 金	2			0 0		0 0	火水	27 28					
	4 編 8 休 タ 楽 庁		治土田	會				-	t	7			1		\dagger	C	_	С	_	_				•	0	-	_	H 29	3		t	0		0	*	8 29				-	
38	Ã		かずく	完成(検査) 時の確認		ŀ		1	_	Н	- 30				-	C	-	C	-	_		闹	描	•	0	-	-	日 日 31			L	0		0	曲	30					
	1		閉所指定土日がすべて閉所	88		1	12		A 14	:	田樊				1	7	╈	0 28		田麥		T		9		-	31	四数			ω	10	3	10	□ %					1	-
	5		0				33.3%		28.6%		関所率				ŀ	25.9%	t	28.6%		関所率				31.0%	_	29.0%		関所率			-	30 0%	30.070	30	X INTA				0		
Ľ	1	L			描麗	ŀ		ŧ		í	州		-	35 1	市		#			州		30	描		_		_	州		描 匪	_				749	N.				+	
			※指定日を振替て閉所している場合を含む		指定《联编剧所指定旧、旅警 指定日の旅警日 開始《工事開始日、完成《完成旅告書提出日		事⇔工事事故等による不稼働期間、災◆天災に対する突発的な対応期間、 他◆その他、受注者の責によらない作業、●◆閉所日		14~千里地画、コーヌコン地画、メーダでや地画、十~十六十名でや地画、製金日端製作期間、○今対象期間、●今開所指定士田、○今開所予定日	H 1847-1-36 1-1	備考			1944年を参考5771944日、東日で1944日 - 1945年日 開始←工事開始日、完成←完成報告書提出日		サイドサ中央学でもので家園出画、ペイベスでおりの大光EDはおJournell画、他年本の他、受注者の責によらない作業、●年閉所日		44 全非編品語、八个核元与出語、夏个夏次多思語、午个年末年路次の思語、製个日祿製介田間、○个対象起語、●个昭所指元士田、○个昭所予元田		備老		開始◆工事開始日、 完成◆完成報告書提出日	指定←現場閉所指定日、振替←指定日の振替日	他々その他、受注者の責によらない作業、●々閉所日	事←工事事故等による不稼働期間、災←天災に対する突発的な対応期間、	間、〇年対象期間	準←準備期間、片〜後片付期間、夏〜夏休み期間、年〜年末年始休み期間、	備老		指定《玻璃網所指定日、狹營《指定日の狹營日開始《工事開始日、完成《完成報告書提出日	他←その他、受注者の責によらない作業、●←閉所日	事←工事事故等による不稼働期間、災←天災に対する突発的な対応期間、	製◆工場製作期間、○◆対象期間、●◆閉所指定土日、○◆閉所予定日	XEH	盖	/中 4/4			月二回土日完全週休二日制工事(発注者指定型)	土日完全週休二日制(発注者指定型)	